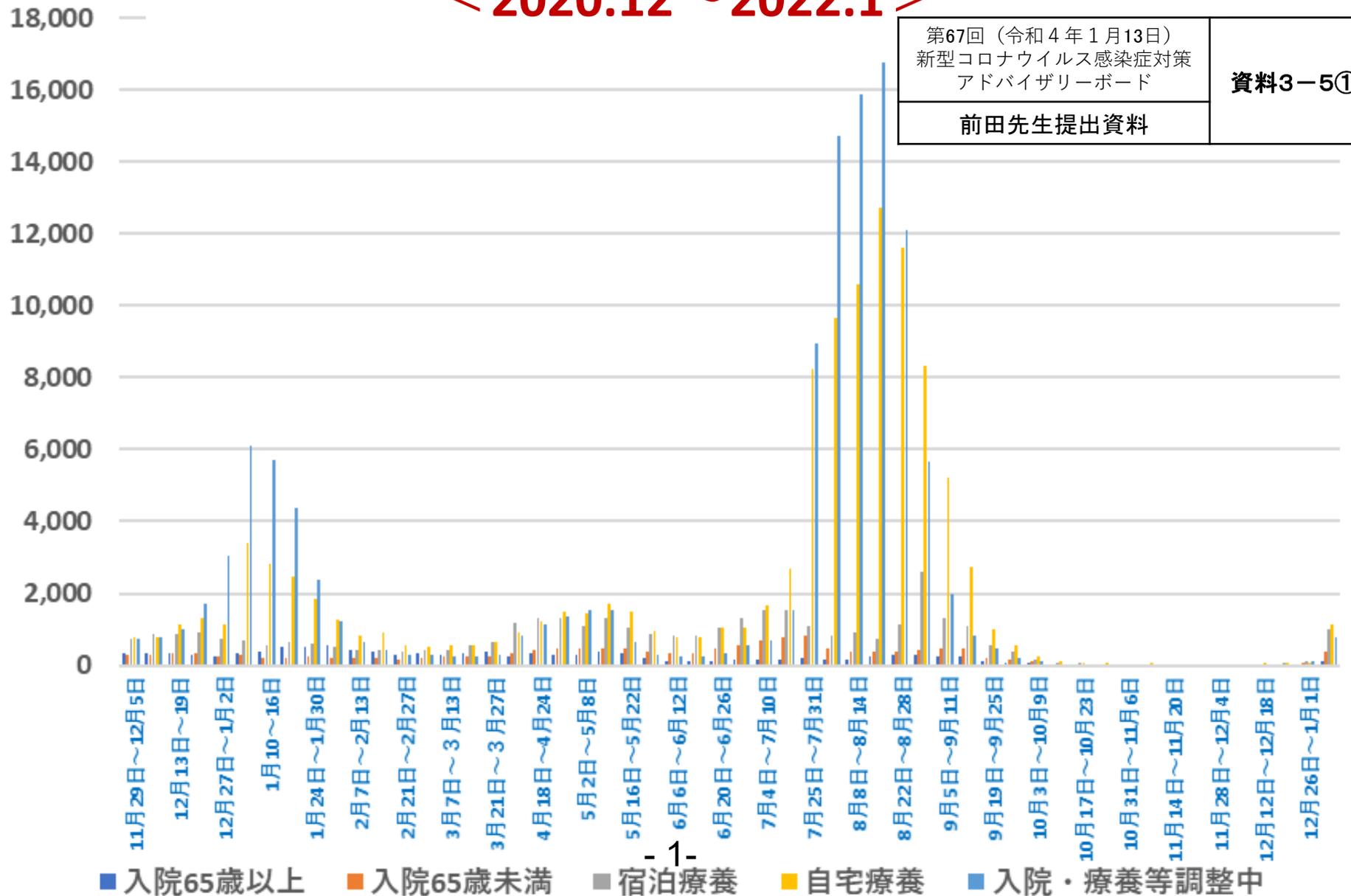


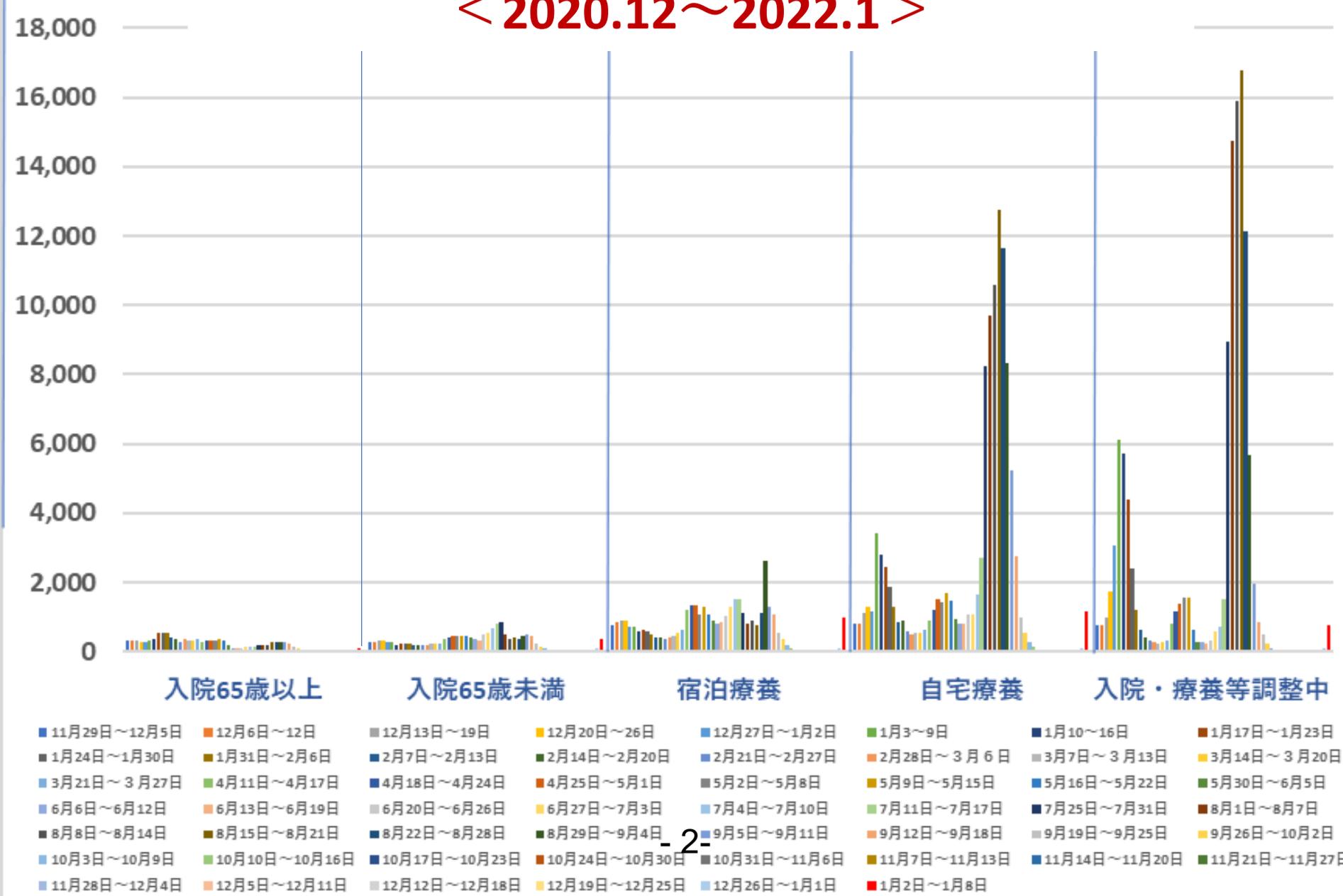
東京都内の陽性者の調整状況（時系列）

< 2020.12 ~ 2022.1 >



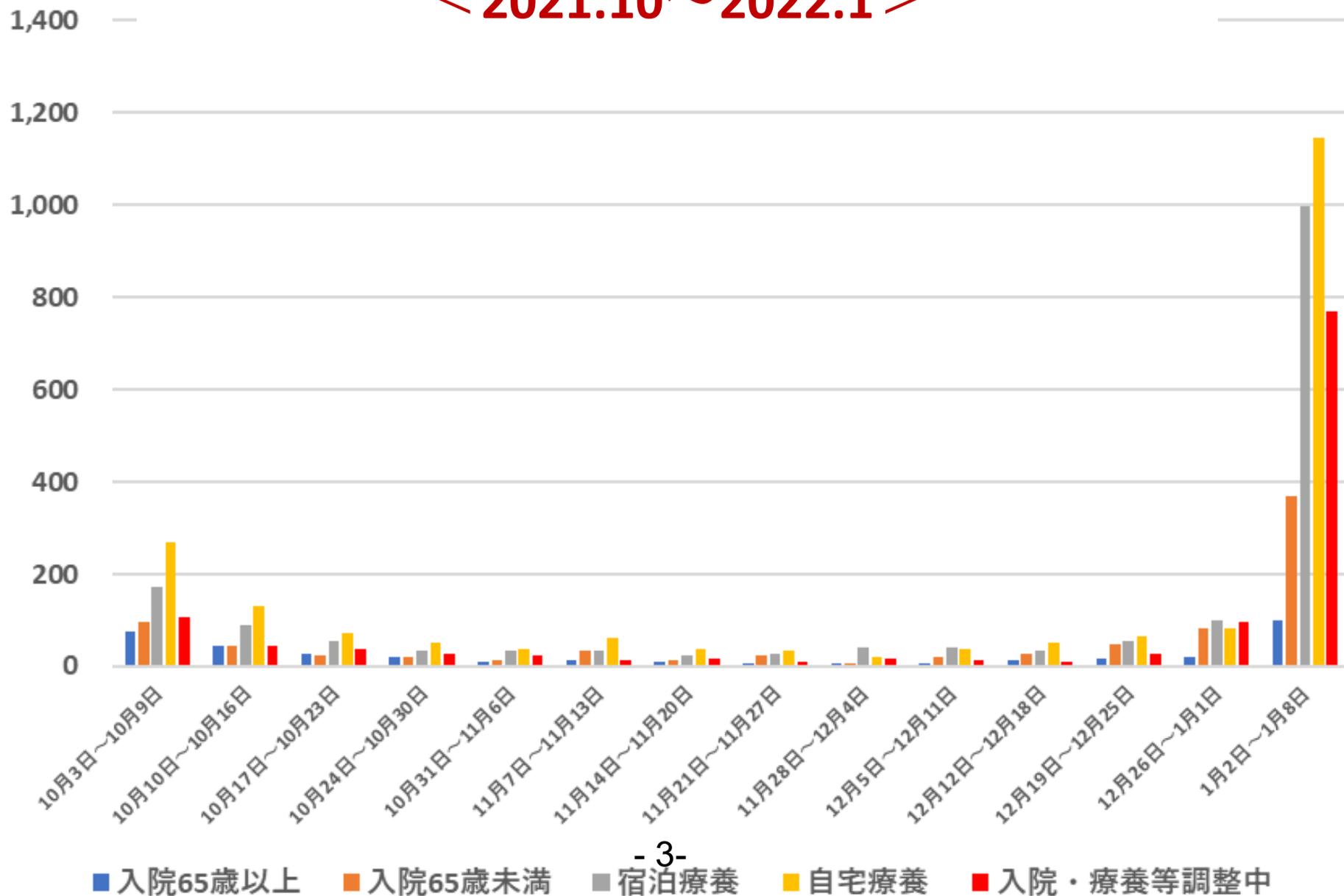
東京都内の陽性者の調整状況（処遇別）

< 2020.12 ~ 2022.1 >



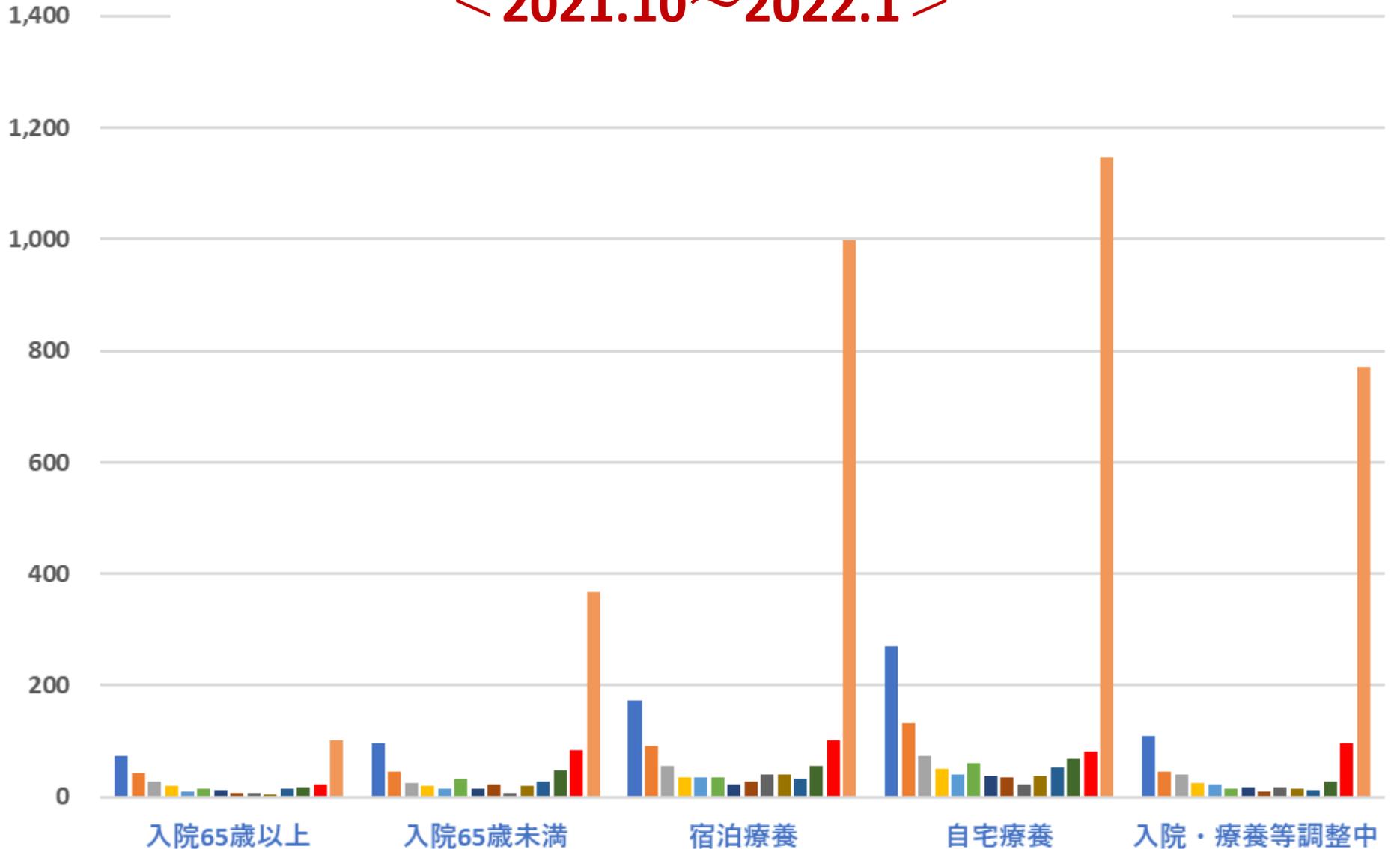
東京都内の陽性者の調整状況（時系列）

< 2021.10～2022.1 >



東京都内の陽性者の調整状況（処遇別）

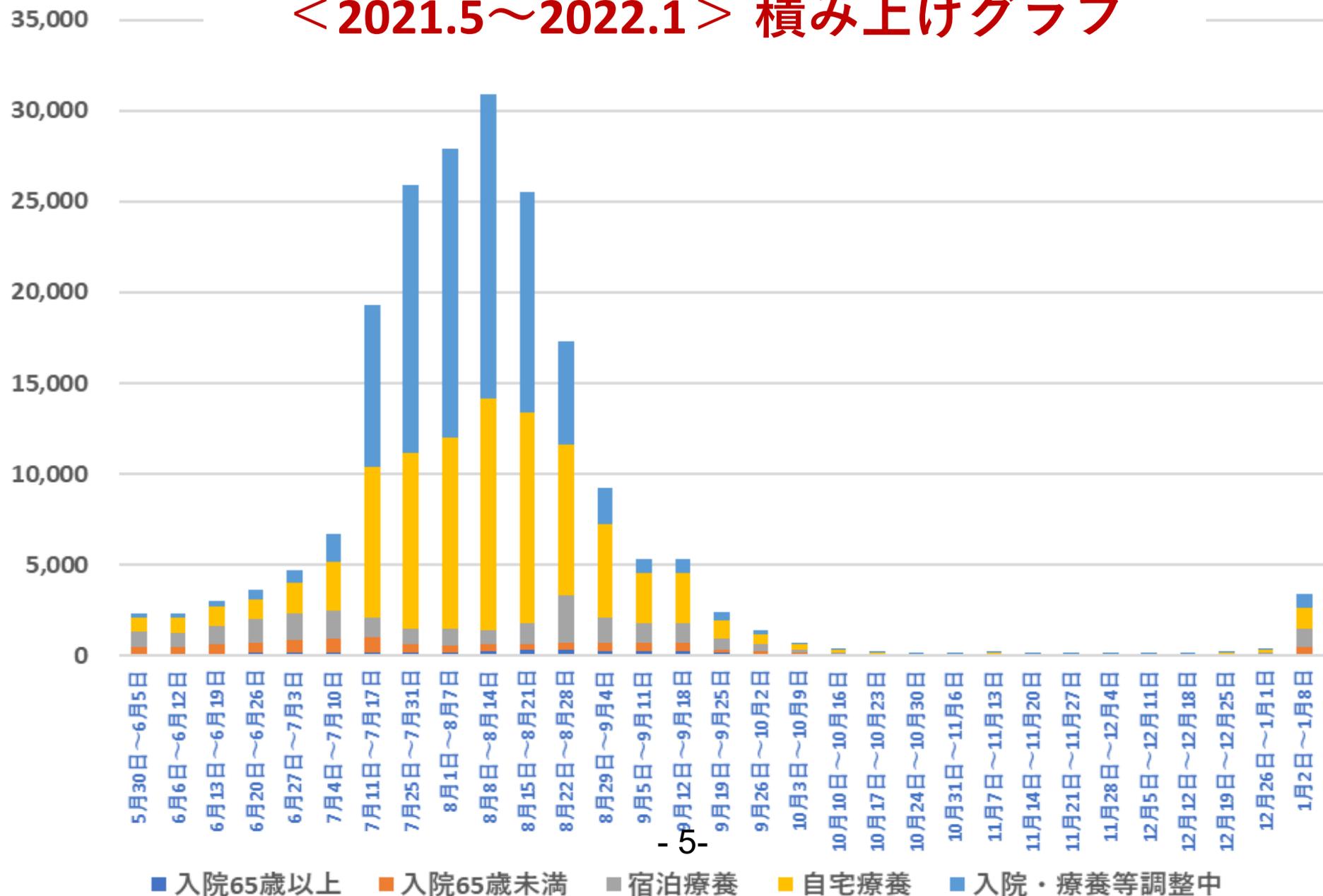
< 2021.10～2022.1 >



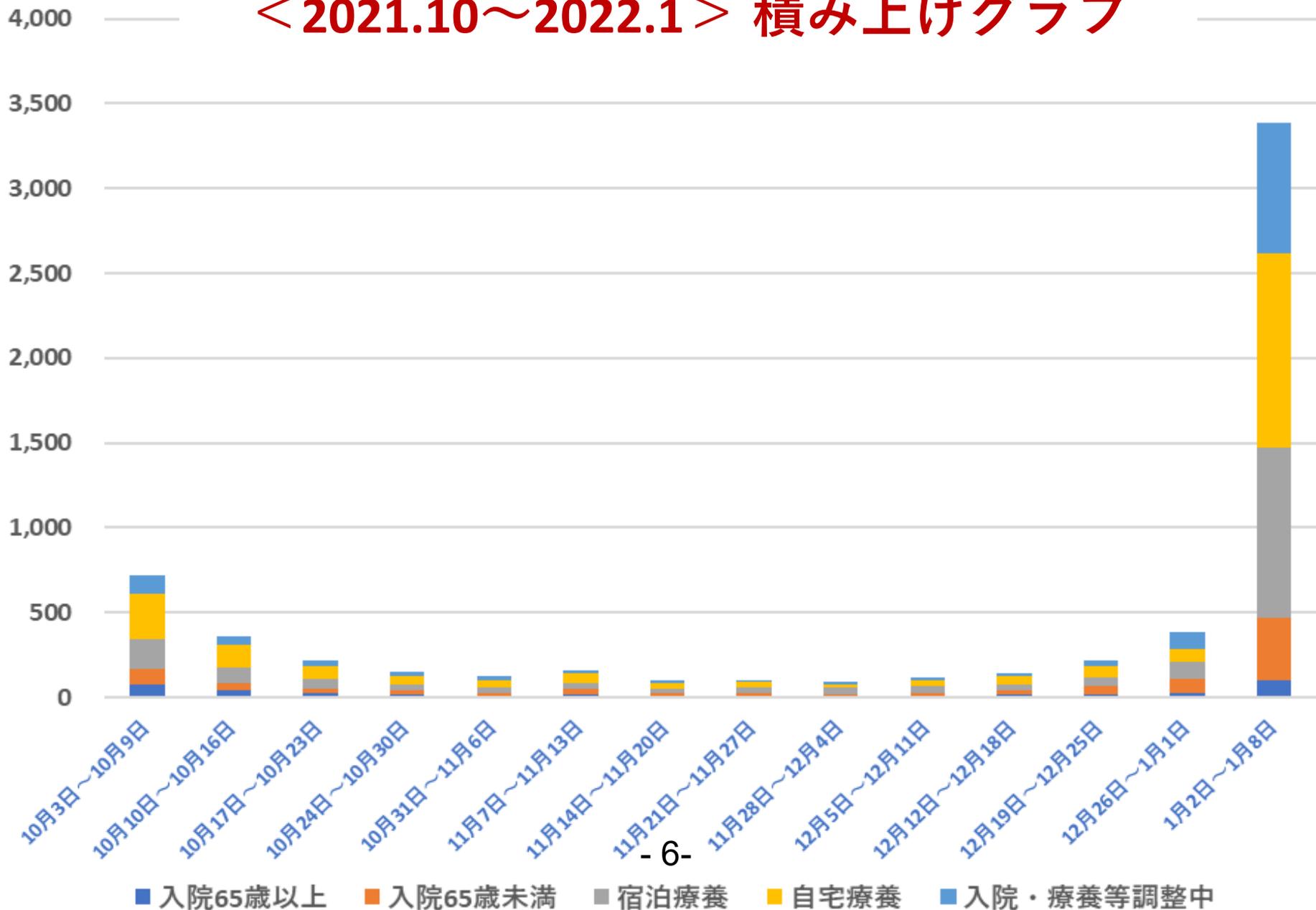
■ 10月3日～10月9日 ■ 10月10日～10月16日 ■ 10月17日～10月23日 ■ 10月24日～10月30日 ■ 10月31日～11月6日
 ■ 11月7日～11月13日 ■ 11月14日～11月20日 ■ 11月21日～11月27日 ■ 11月28日～12月4日 ■ 12月5日～12月11日
 ■ 12月12日～12月18日 ■ 12月19日～12月25日 ■ 12月26日～1月1日 ■ 1月2日～1月8日

東京都内の陽性者の調整状況（時系列）

< 2021.5～2022.1 > 積み上げグラフ

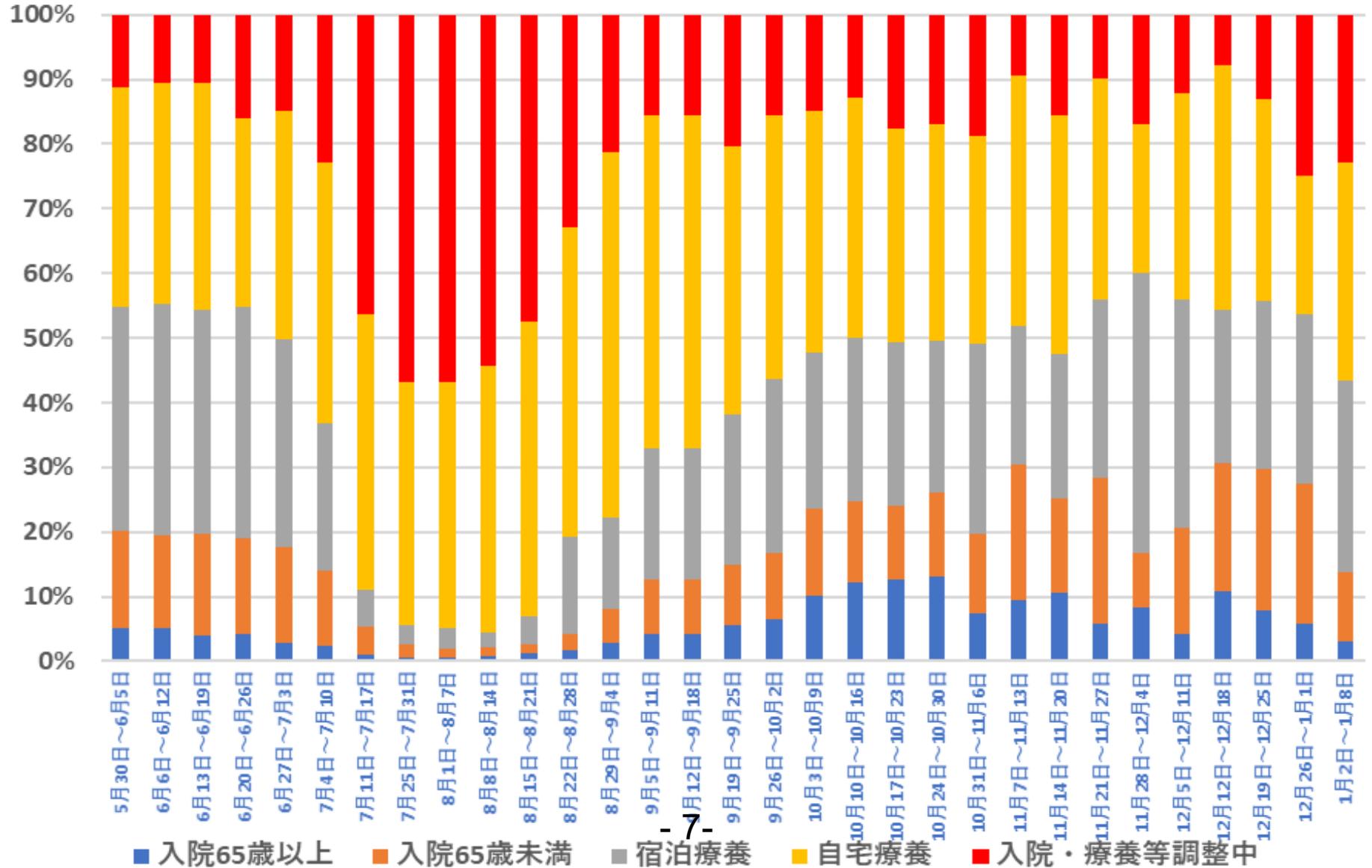


東京都内の陽性者の調整状況（時系列） < 2021.10～2022.1 > 積み上げグラフ

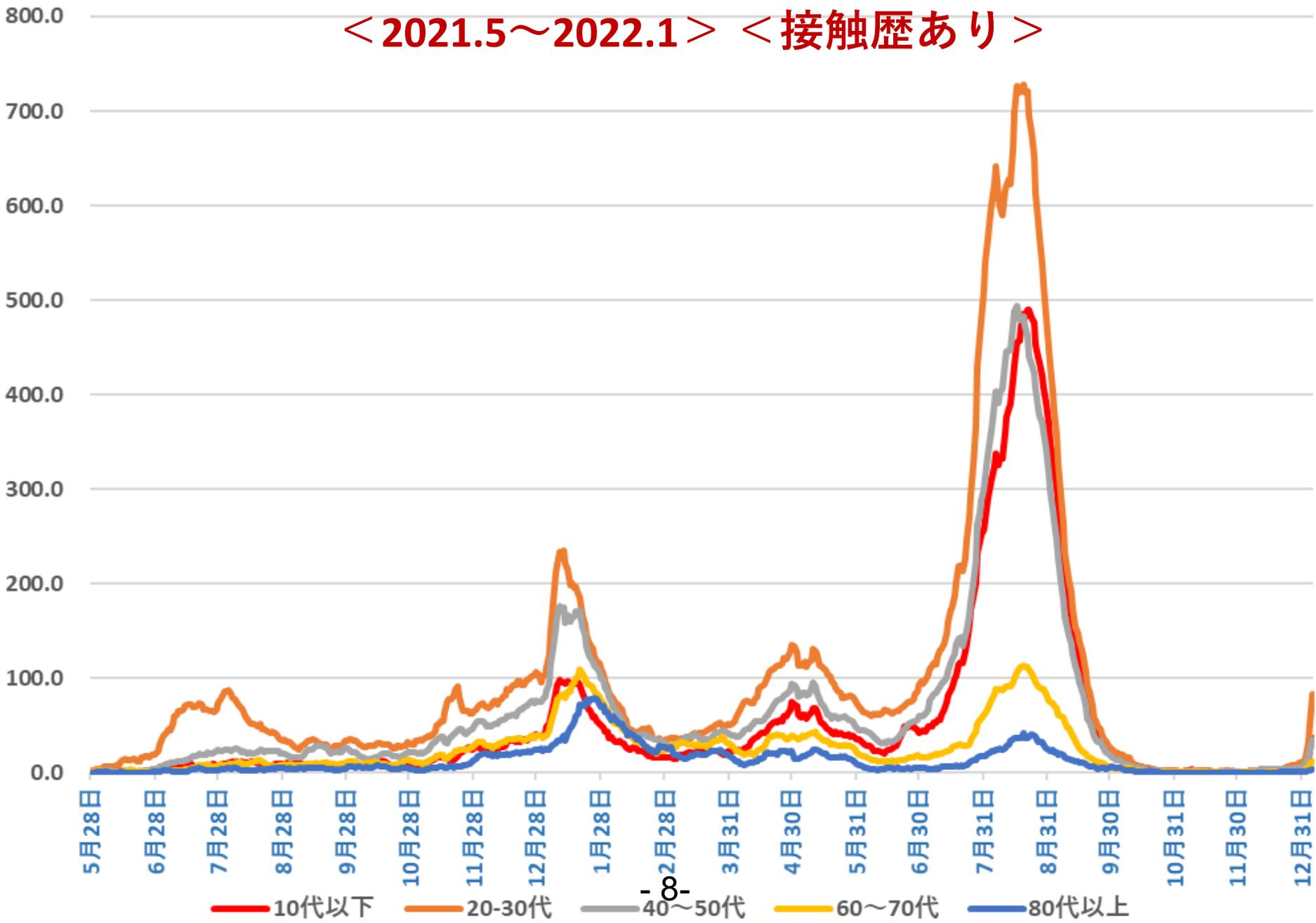


東京都内の陽性者の調整状況（時系列処遇別割合）

< 2021.5～2022.1 >

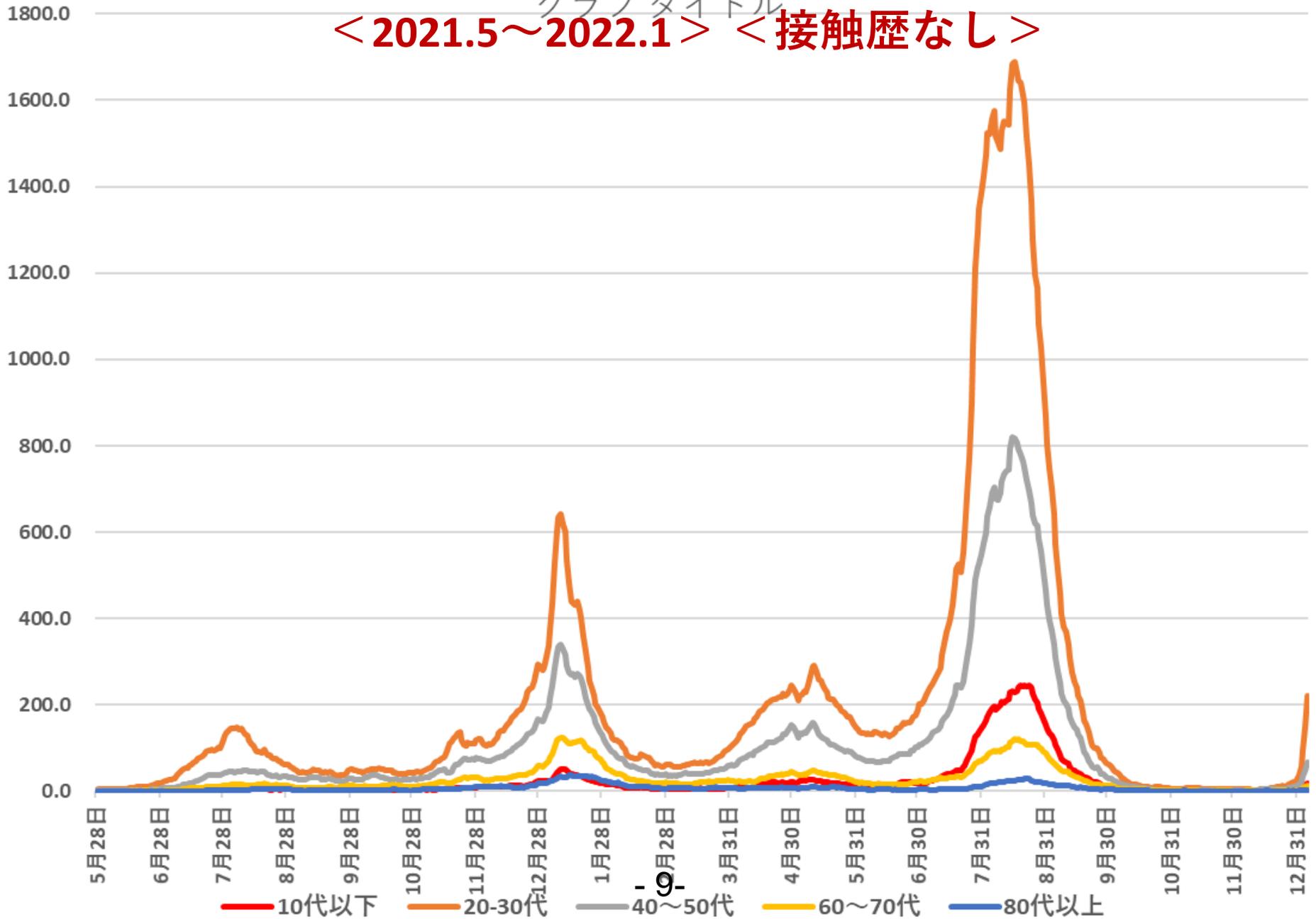


東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 < 2021.5～2022.1 > < 接触歴あり >

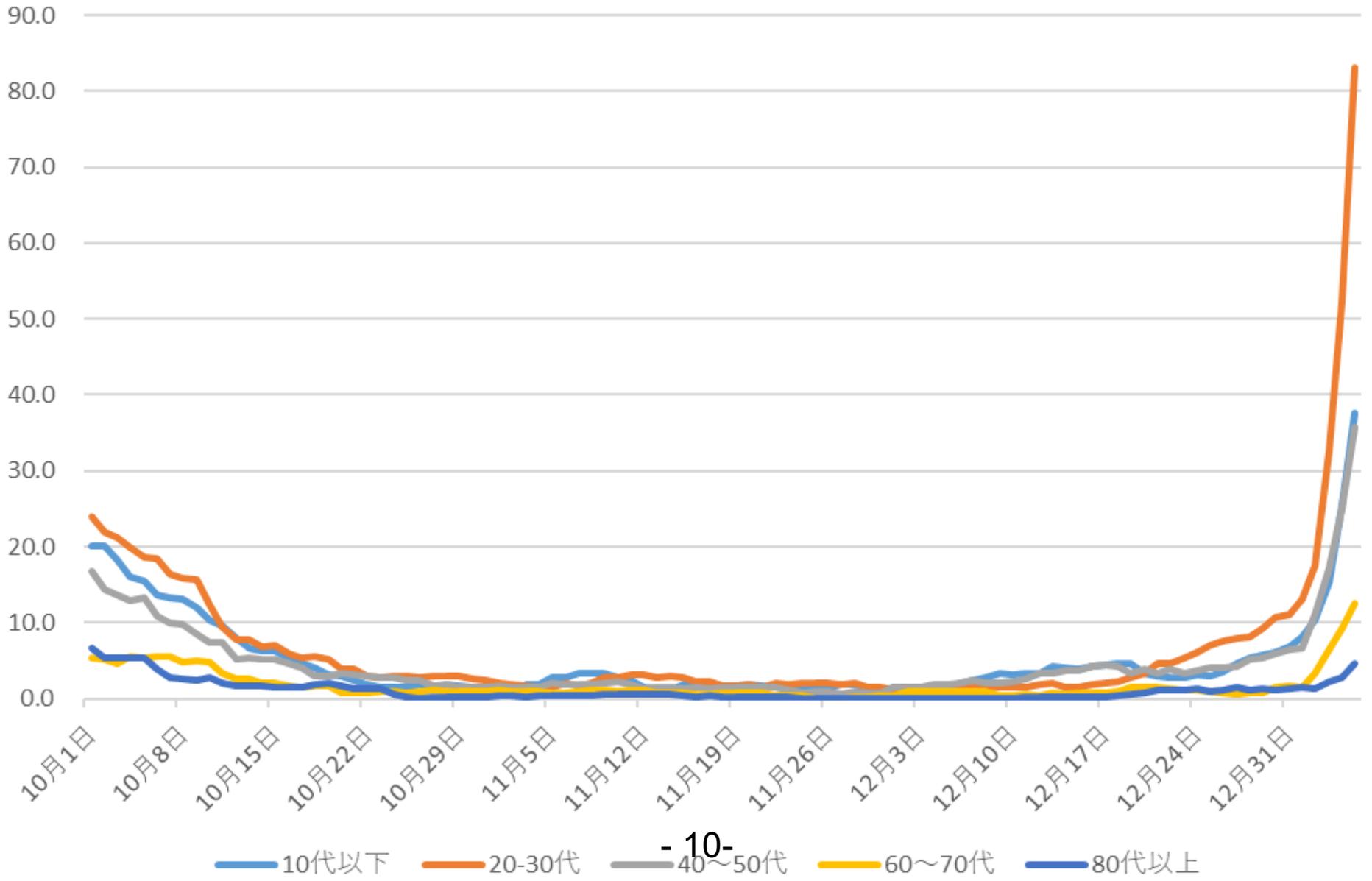


東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移

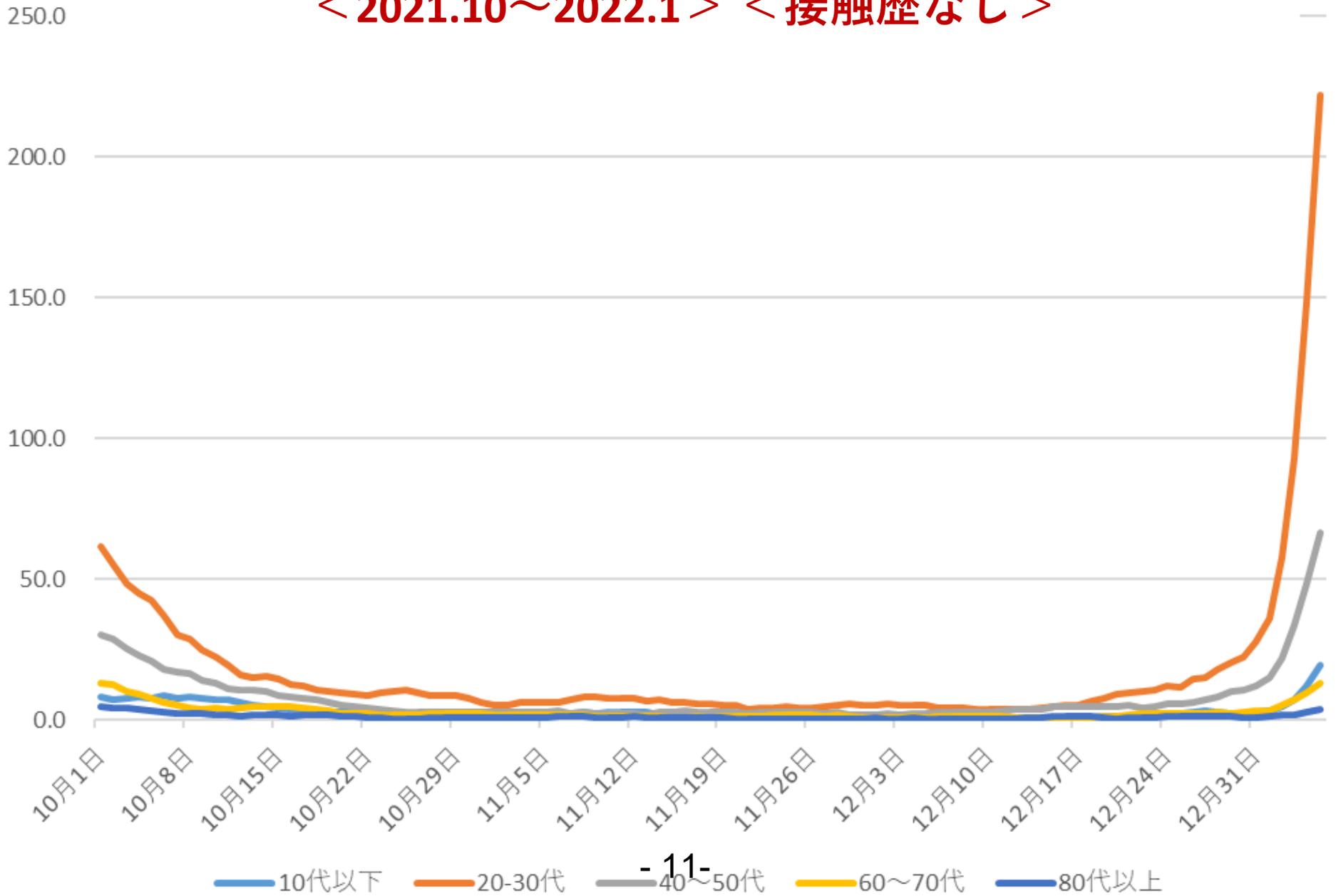
< 2021.5～2022.1 > < 接触歴なし >



東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 < 2021.10～2022.1 > < 接触歴あり >

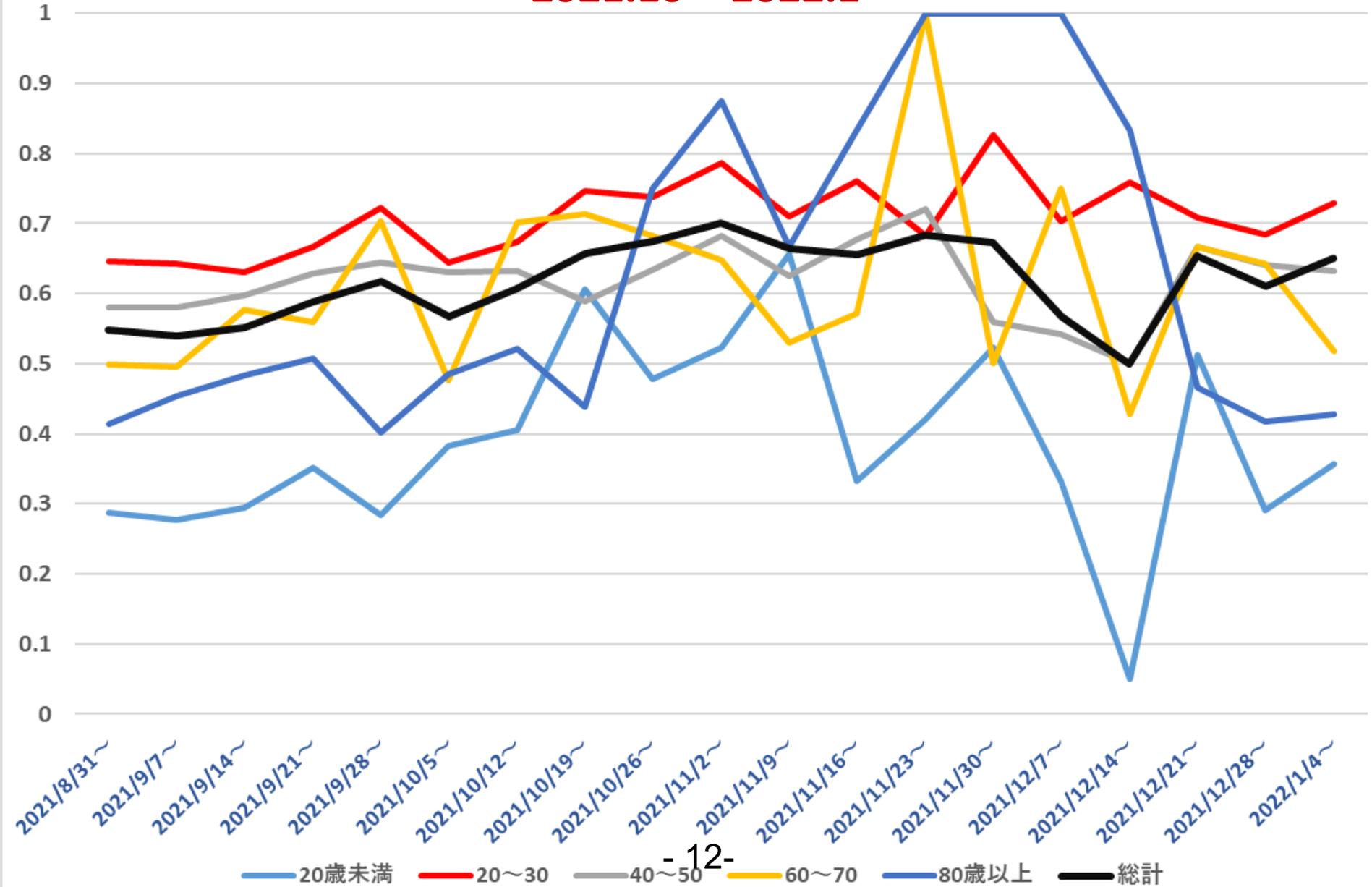


東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 < 2021.10～2022.1 > < 接触歴なし >



東京都年代別週別新規陽性者接触歴不明者割合の推移

< 2021.10 ~ 2022.1 >



東京都特別区新規発生報告状況 2021年2月～2022年1月

※1月は1月2日までの報告情報に基づく

人

人口10万対新規陽性者数の週別推移（特別区）

400

350

300

250

200

150

100

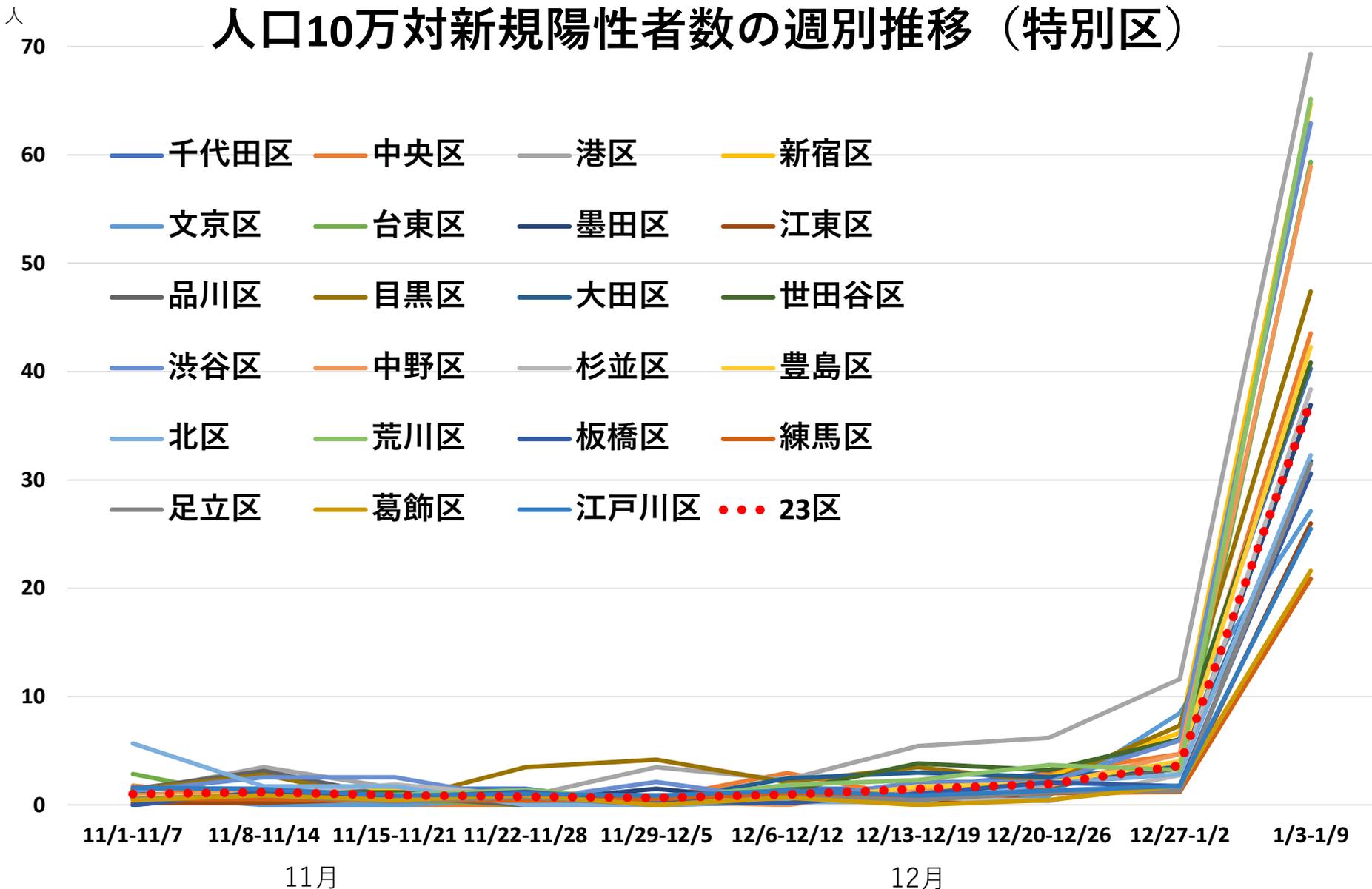
50

0

- 千代田区 中央区 港区 新宿区
- 文京区 台東区 墨田区 江東区
- 品川区 目黒区 大田区 世田谷区
- 渋谷区 中野区 杉並区 豊島区
- 北区 荒川区 板橋区 練馬区
- 足立区 葛飾区 江戸川区 ●●● 23区

第49週 第50週 第51週 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 第31週 第32週 第33週 第34週 第35週 第36週 第37週 第38週 第39週 第40週 第41週 第42週 第43週 第44週 第45週 第46週 第47週 第48週 第49週 第50週 第51週 第1週 第2週 第3週

人口10万対新規陽性者数の週別推移（特別区）



区別人口10万対の新規陽性者数地図 第48～2022/1週(11/22～1/9)

第48週



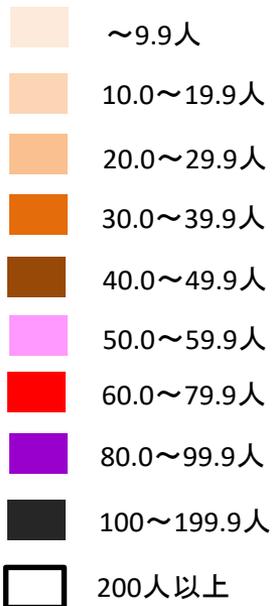
第49週



第50週



第51週



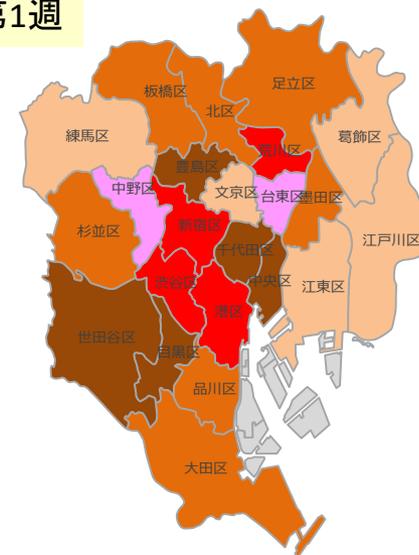
第52週



第53週



第1週



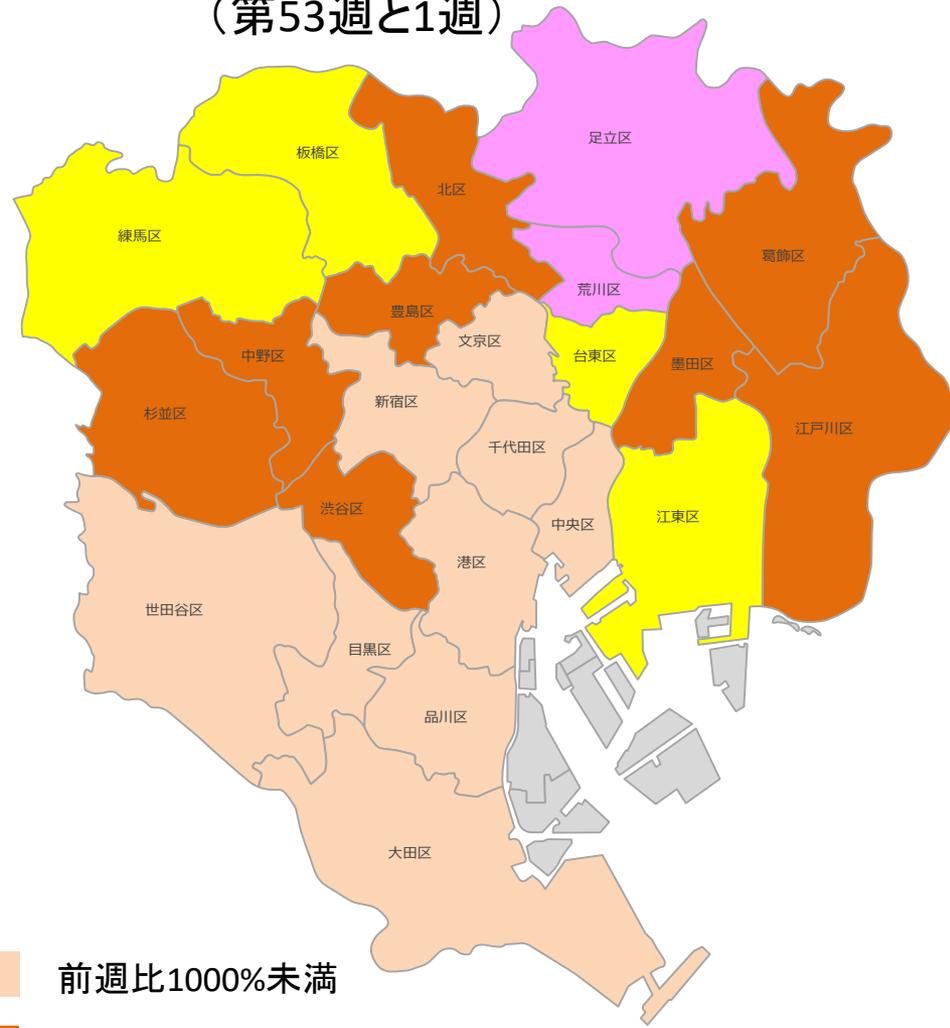
区別人口10万対の新規陽性者数の変化

(第52週と53週)



- 前週比100%以上
- 前週比80-100%未満
- 前週比60-80%未満
- 前週比60%未満

(第53週と1週)



- 前週比1000%未満
- 前週比1000-1500%未満
- 前週比1500-2000%未満
- 前週比2000%以上

-17-

新型コロナウイルス感染症陽性者と ワクチン接種の関連

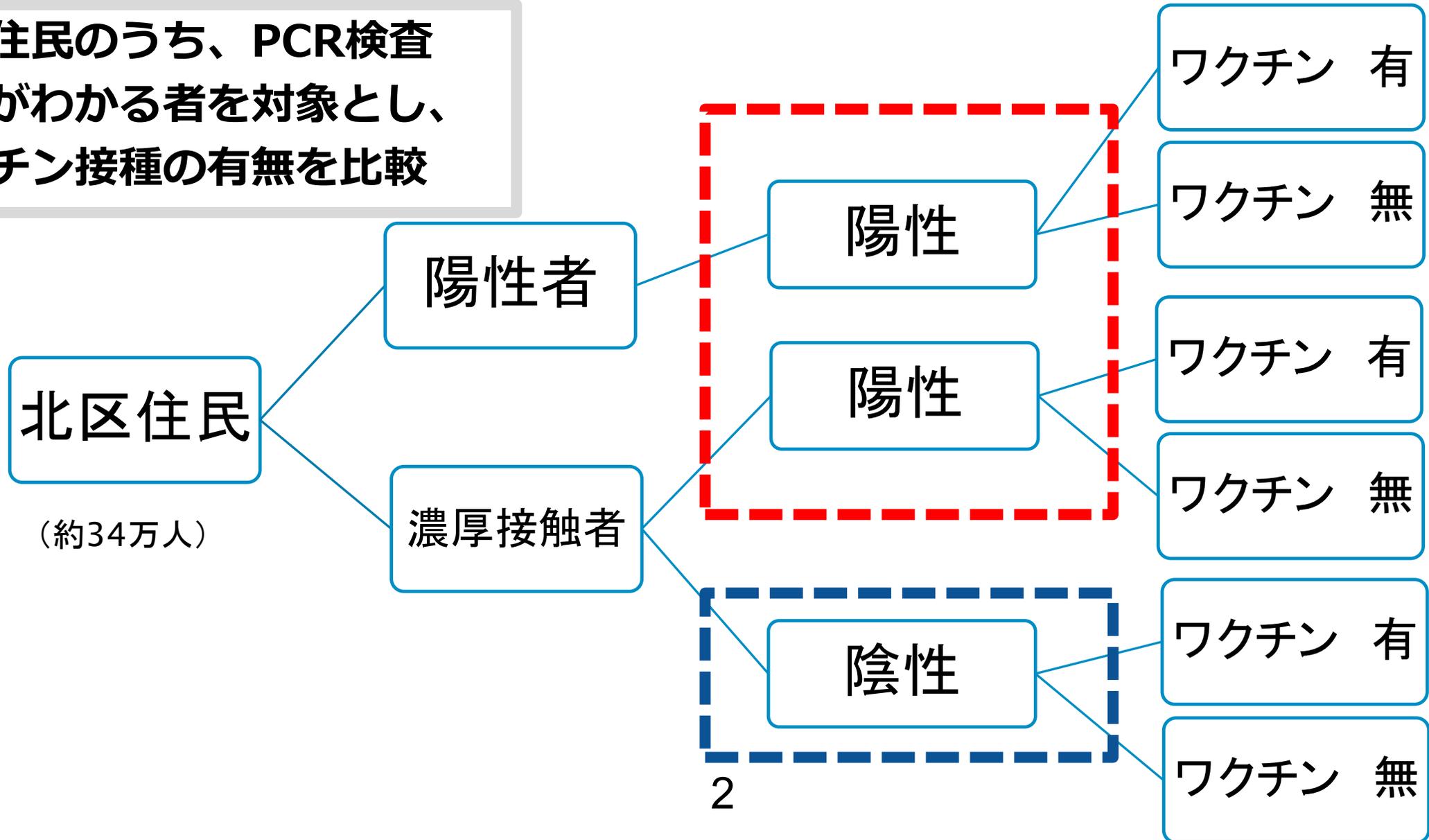
2021年4月1日～9月30日 北区保健所データの分析

SUPPORTED BY 帝京大学 北区保健所支援チーム

2022年1月12日版

デザイン

北区住民のうち、PCR検査結果がわかる者を対象とし、ワクチン接種の有無を比較



データ1：陽性者一覧

陽性者：5,246人

陽性者 総数 6,767人

2021年4月1日～9月30日発生届受理かつ発生時北区所在者（他保健所受理の転送分を含む）
うち1,521人を除外

【除外】

- ・ 北区外住民： 95人
- ・ ワクチン接種対象外年齢（11歳以下）： 429人
- ・ 再燃不受理： 2人
- ・ 事例番号重複： 1人
- ・ 調査期間内に2回陽性者： 7人 14ケース
- ・ 住所と生年月日および性別でのデータ突合不能： 980人*

*住基が北区にない者が含まれると予測³される

データ2：濃厚接触者一覧

濃厚接触者 3,851人

濃厚接触者 総数 6,194人

2021年4月1日～9月30日北区保健所が濃厚接触者として探知した北区
所在者

うち2,343人を除外

【除外】

- ・ ワクチン接種対象外年齢： 1,289人
- ・ 調査期間内に2回以上濃厚接触者： 206ケース
- ・ PCR検査陽性（895名）で陽性者一覧と重複： 322人
- ・ 住所と生年月日および性別でのデータ突合不能： 526人*

*住基が北区にない者が含まれると予測される

データ3：北区VRS

対象者 329,080人

VRS登録 登録開始から2021年11月15日まで

※ワクチン接種は、1回目接種日の記録がなく、2回目のみに接種日の記録がある場合は、2回接種として取り扱った

※データは11月15日までの情報を含むが、陽性者は北区保健所の受付日、濃厚接触者は北区保健所の探知日を基準として検査前のワクチン接種の有無を区分した

使用するデータ

データ1．陽性者一覧

データ2．濃厚接触者一覧

データ3．北区VRS（ワクチン接種情報）

データ1ならびにデータ2を、データ3と突合させて
ワクチン接種情報を得た。

本分析に用いた対象者

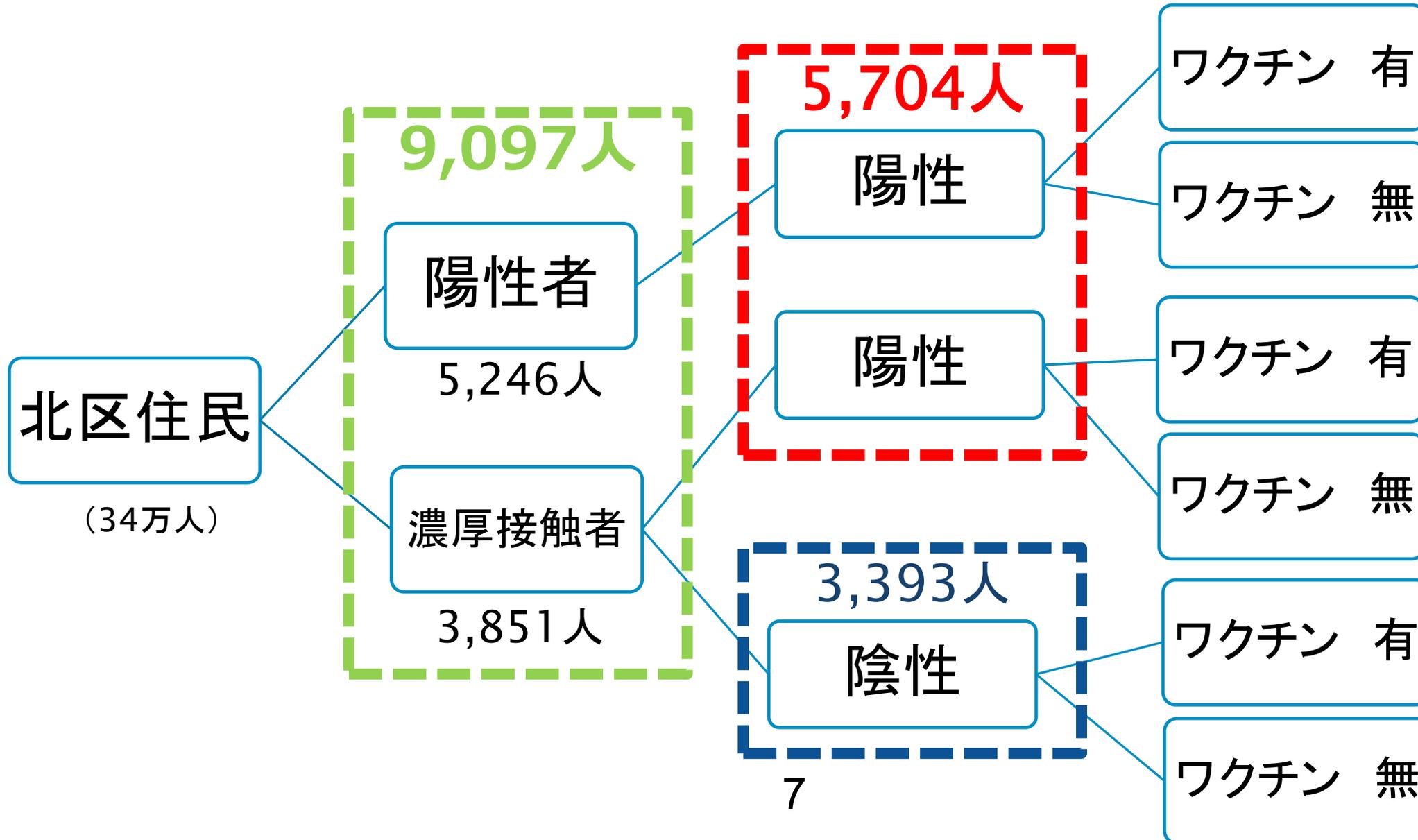


表 1. 対象者の特徴

N=9,097		n	%			n	%
性別：男		4,732	52 %	ワクチン接種状況（11/15迄）			
年齢：				二回接種		5,752	63 %
中央値		36	[25, 51]	一回接種		886	10 %
範囲		11歳*	- 100歳	未接種		2,459	26 %
				*受付日または探知日は11歳でワクチン接種対象者			
39歳以下		5,126	56 %	ワクチン種類（11/15まで、欠損5）			
40歳以上64歳以下		2,971	33 %	ファイザー		5,291	58 %
65歳以上		1,000	11 %	モデルナ		1,302	14 %
				アストラゼネカ		2	0.02 %
				不明		2,497	27 %
発生届受付または濃接探知：				発生届受付または濃接探知：			
4月1日-5月31日		1,919	21 %	ワクチン2回接種前		8,060	89 %
6月1日-9月30日		7,178	89 %	ワクチン2回接種後		1,037	11 %
外国人（欠損10）		1,044	12 %	Breakthrough感染		784	9 %
症状：なし（欠損33）		4,152	46 % ⁸				

表 2. 検査陽性者と陰性者との比較

N=9,097	陽性 n=5,704 (63%)		陰性 n=3,393 (37%)		オッズ比 (95%信頼区間)
	n	%	n	%	
	性別：女 (Ref.)	2,476	43 %	1,889	
男	3,228	57 %	1,504	44 %	(1.503 - 1.784)
年齢：64歳以下 (Ref.)	5,307	93 %	2,790	82 %	.345
65歳以上	397	7 %	603	18 %	(.302 - .396)
国籍 (n=9,087)：日本 (Ref.)	4,897	86 %	3,145	93 %	2.106
日本以外	800	14 %	244	7 %	(1.813 - 2.448)
症状 (n=9,064)：あり (Ref.)	4,755	83 %	157	5 %	.010
なし	942	17 %	3,210	95 %	(.008 - .012)
発生届受付／濃接探知までのワクチン接種状況					
2回接種 (n=1,037)	338	6 %	699	21 %	.243
1回接種または未接種 (Ref.)	5,366	94 %	2,694	79 %	(.212 - .279)
少なくとも1回接種 (n=1,165)	443	8 %	722	21 %	.312
未接種 (Ref.)	5,269	92 %	2,671	79 %	(.274 - .354)

まとめと考察

- 新型コロナウイルス感染症PCR検査結果判明者を対象に、陽性者と陰性者について比較を行った。陽性者は男性に多く、高齢者が少なく、日本人と比べて外国人の陽性者の割合が高かった。また、症状の有無については、陽性者でも症状がない者がみられた（陽性者のうち17%）。
- 発生届受付もしくは、濃厚接触探知までにワクチン接種を受けたか否かの2群に分けて分析したところ、1回接種または未接種の群と比べると、2回接種していた群では、陽性者が少なかった（OR=0.243（0.212, 0.279））。同様に、未接種の群と比べると、少なくとも1回接種している群では陽性者が少なく（OR=0.312（0.274, 0.354））、ワクチン接種による効果がみられた。

陽性者情報とワクチン接種情報 データ突合に関する課題 1

本分析は、異なる3つのデータを用いた。その作業を通じて明らかになった課題を挙げる。

✓ 異なるデータの突合の困難さと共通IDの必要性

- ・今回は基本的に、陽性者一覧（データ1）ならびに濃厚接触者一覧（データ2）と、ワクチンデータVRS（データ3）で共通で得られる「住民の居住地（丁目・番地）、生年月日、性別」の3つを用いてデータの突合を行った。しかし、これらの情報のみでは、同じ地域に同じ性別で同じ生年月日という、3つが重複している人も多く、データの突合ができず、各データで示したとおり除外した者も多かった。
- ・同じ疾病に関する一連のデータベースには、共通のIDを設けて情報を管理し、感染者の転帰や関連情報を整理することが必要である。

陽性者情報とワクチン接種情報 データ突合に関する課題 2

✓ 保健所と自治体に分かれた情報と連携

今回は、東京都特別区の情報を用いた分析であった。特別区は、区の保健所が陽性者情報、区のワクチン担当課がワクチン情報を把握しており、情報は双方を得ることができた。しかし、保健所設置市以外は、陽性者情報は保健所（県レベル）、ワクチン情報は各自治体が扱っており、その情報収集には連携が必要になる。

✓ データベース構築における実際のデータ担当者の参画

データ突合や解析の際におこる困難さは、実際にデータを用いる者でないとわからない状況にある。実務のために蓄積されている情報を有効活用して分析し、迅速に対策に活かすようなデータベースにするためには、共通のデータベース構築の初期段階で、データを実際に扱う者や、データを利用する実務者などによる設計が求められる。